

令和2年1月～9月 九州管内で発生したLPガス事故（液石法関係）について、その概要をお知らせします。

令和2年10月20日
九州産業保安監督部保安課

注：LPガス容器の盗難・喪失は除く
事故情報については修正等の可能性あり

番号	発生日	発地域	災害・事故の種類	概要 【原因】
14	9/15	佐賀県	漏えい【供給】	消費者から「ガスがつかない」との連絡があり、現場に出動し確認したところ、ガス圧低下によりメーター遮断を起こしていた。 当該箇所は集合住宅であったが、深夜で他の住宅のメーターは遮断していなかった。供給側を確認したところガス流出音があり、漏えい検査を試みたが全く圧がかからない状態であった。 漏えい箇所が特定できなかったため、個別供給に切り替えた。 【原因（推定）：埋設供給管の老朽化】
13	8/11	福岡県	漏えい【供給】	8/11の10時30分頃に、シロアリ駆除工事に伴う地盤穿孔調査作業において、ボンベ庫から共同住宅への埋設ガス配管（供給管）に穿孔ドリルが貫通し漏えいが発生した。 連絡を受けた販売店が現地へ到着し、破損部分を確認、中間ガス栓を閉止し、漏えいは停止した。 その後、新規配管材料にて漏えい箇所を修繕し、15時30分頃に修復工事を完了した。 【原因：他工事】
12	8/5	長崎県	漏えい【供給】	電気工事の仮設電柱設置のため、バルク貯槽から5m付近をスコップ等を使って手掘りで掘削中に埋設ガス管(PE管)を損傷させガスが漏えいした。ガスの漏えいに気づいた電気工事の作業員がガスメーターのガス栓を閉栓した。 なお、当該消費先は遠隔監視システムが導入されており、直ちに漏洩を覚知し、マイコンメーターが作動、遮断している。 【原因：他工事】
11	7/6	佐賀県	漏えい【供給】	事務所より容器周りがガス臭いとの連絡を受け、ガス事業者が点検したところ、50kg2本立ての予備側容器側面（スカート直上）にピンホールがあり、漏えいしていた。残ガスは安全な箇所で大気放出した。（残ガス約10kg、漏えい約40kg）、予備側容器の設置日は2013年7月19日（設置後7年経過）。 【原因：腐食によるピンホール発生】
10	6/18	佐賀県	漏えい火災【消費】	消費者宅において、コンロを使用中、ガスに着火し炎があがった。 住民が消火器により消火を行い、消防が到着した時は鎮火していた。 住民はガスコンロを使用する際には2口ガス栓の未使用側も常に開けて使用しており、未使用側はゴムキャップで閉止していたが、少量のガスが漏れ着火したものと推定。 【原因：点火ミス】
9	5/27	長崎県	漏えい【消費】	消費者から、ガス器具が点火せずメーターを確認したところ遮断しているとの連絡を受け、販売事業者が現場に出動したところ、露出配管（エルボ部）の継ぎ手部分からガスが漏れしていることが分かった。前日に供給設備付近のフェンス修理を行っており、その際に配管に負荷がかかり漏えいした。 【原因：他工事】
8	5/21	福岡県	漏えい火災【消費】	うどん店の麺釜器下部にある麺釜への配管の継ぎ手ねじこみ部に亀裂が発生し、漏えいしたガスが麺釜器の種火により着火し火災をおこした。従業員が直ちに元栓を閉止し消火器で消火した。（消防出動あり）翌22日、直ちに修理を行い、22日午前10時頃より供給を再開。 【原因：配管の腐食(麺釜器下にある継ぎ手箇所は常に水が多い雰囲気下にあったため腐食した)】
7	5/2	長崎県	漏えい【供給】	ガス供給先の消費者自身が自宅敷地内（庭）の植栽作業のため、重機で掘削中に埋設ガス管を損傷させ、ガスが漏洩した。 連絡を受けた販売事業者が損傷箇所の応急措置を行い対応を完了した 【原因：他工事】

6	4/13	長崎県	漏えい【供給】	<p>駐車場整備を行っている工事業者が重機で掘削中に、集団供給（5～6戸）のガス引き込み管を損傷させ、ガスが漏洩した。</p> <p>連絡を受けた販売事業者が損傷箇所の応急措置を行い対応を完了した</p> <p>【原因：他工事】</p>
5	3/24	福岡県	漏えい【供給】	<p>集団供給設備によりガスを供給している一般住宅（戸建て住宅）において、解体工事業者が門柱を撤去する際、埋設供給管を損傷させ、ガスが漏えいした。解体工事業者が応急的に漏えいを止め、連絡を受けた販売事業者が現場到着後、容器バルブを閉めた。供給管の復旧工事を行い、工事完了後、ガス供給を開始した。</p> <p>【原因：他工事】</p>
4	3/10	佐賀県	漏えい【供給】	<p>集団供給設備（14戸）によりガスを供給している一般住宅（戸建て）において、消費者が埋設供給管の立上り部を誤って切断し、ガスが漏えいした。</p> <p>【原因：住民によるガス管の切断】</p>
3	2/17	福岡県	漏えい【供給】	<p>消費者よりガス器具が使用できない旨販売事業者へ連絡があった。販売事業者が現場を確認したところ、漏えい検知装置がB表示になっており、容器が空であった。漏えい試験を実施し、埋設供給管からの漏えいを確認したが、漏えい箇所を特定出来ず、仮設にて供給を再開した。なお、後日、埋設供給管を露出供給管へ切り替える工事を行った。</p> <p>【原因：供給管の腐食】</p>
2	2/17	宮崎県	漏えい火災【消費】	<p>ガスコンロに接続されていた2口ガス栓（ヒューズガス栓）の予備側を消費者が誤開放し、漏えいしたガスにガスコンロの火が引火した。</p> <p>【原因：ガス栓の開放ミス】</p>
1	1/22	宮崎県	漏えい火災【消費】	<p>ヒューズコック栓とホースとの接続部からガスが漏れ、ガスコンロを着火した際に漏れたガスに着火し燃え上がった。原因は前回調理後の清掃時にホース接続部が緩み、ガス栓を開けて使用した際その隙間からガス漏れが発生した。</p> <p>【原因：清掃時のホースの緩み】</p>